

2022.8月

銀の汗 Again

A面

UN初・青森県北津軽郡マシン推参



お岩木山で手を振れば、あの娘は
小さくすいた、茜の空で誓った恋を
東京暮らして忘れたか
帰って来いよ帰って来いよ帰って来いよ



岩木山を目指すUNマシン



岩木山近くの現場: 湖水荘2,300㎡



圧送開始UN7号機と石川OP



青森の職人さんの目の輝きはとも澄んでいます



岩木山が映えるウレタン施工後



津軽五所川原駅



吉幾三ミュージアムとUNマシン



名曲

【全国制覇へ、また一歩前進】

2021年11月、銀の汗Again26号に掲載した、みちのく1人旅の盛岡現場に引き続き、さらに最北端の青森県北津軽郡にUNマシン初施工。今回の現場は介護老人福祉施設「湖水荘」2,300㎡。津軽の富士と言われる「岩木山」(標高1,625m)に見守られている現場で、見渡せば何処までも続く「りんご畑」.. 本来、人が住むところは、こうあるべきと頷く。そんな時間がゆっくりながれるような現場で優しさが溢れる、笑顔がステキな職人さんと、力を合わせて2,300㎡約9トンの材料を3日間で流し終えました。

□不思議な2つのめぐりあわせ

ブラックガムを胸ポケットに「安全運転」を合言葉に700km先の青森県に向かうUNオペレーターたちは不安を抱えていました。それはズバリ天気です。タイミング悪く東北も丁度梅雨入りのニュースを聞きながらの出発でした。施工予定日の天気予報は、かなり厳しい状況に、不安を抱きながらの移動。結果、なんと施工の3日間は、絵にかいたような晴天となりました。しかも、この地は担当UNオペレーターの、3年前他界した、実母の故郷だったのです。きっと、梅雨の合間に見せた青空は、粋なお出迎えだったのかもしれない。



新木場で、ベコ飼うだ〜♪

□最北端の防水会社さまとの交流

今回UNマシンを初採用頂きました、(有)菊水工業様と、五所川原の演歌が流れ続ける美味しい料理屋さんでお食事を共にさせて頂きました。初めての馬肉、珍しい地酒などを堪能。昭和の演歌が流れる中、もう東京には帰りたくない..、「お岩木山から、帰って来いよ、帰って来いよ」の歌声が耳から離れず、大きな声で、またのご用命をお待ち申し上げますと..「オラ、こんな村、好きだー」と、強くハンドルを握りしめ、東京にむかいました。

2022.8月

銀の汗 Again

B面

1層目UN(EZ)・2層目在来工法荷揚げ(AZ)



武蔵野総合体育館



体育館屋上



2層目のAZ汎用缶

武蔵野体育館はES工法(EZ1回塗り)でUNマシンご利用頂きました。2層目は100セット近い汎用缶での在来工法となります。UNマシンは唯一サラセーヌAZを圧送する事が、材料特性上、現在不可となっています。1層目をUNマシンで施工し、2層目を在来工法(荷揚げ・缶潰しあり)で終える施工店様からは、UNマシンが絶対楽でイイとはやくAZも圧送出来るようにと、お願いされました。

特販・作業服メーカー展示会



J社の展示会



A社の展示会

2022年冬物の作業服メーカーの展示会があり特販チームとして2社の新商品展示会に伺いました。外は猛暑で、まさに空調服をPRしている最中4ヶ月後の冬の電熱ベストや防寒ブルゾンの新作を見て回ります。実際に試着して肌さわりを確認良い商品を実感し、細部の説明を受けて納得致しました。この冬も提案を強化してPRさせていただきます。

新UNマシン8号機こけら落とし



江東区深川図書館



UN8号機

7/20(水) 江東区深川図書館650㎡のUNマシン施工においてこけら落とし現場として新UN8号機が参上し無事に施工を終えることができました。8号機は、7号機と同じようにロータリーポンプを採用した静音タイプのマシンとなっています。7号機の使い勝手を踏まえ、扉は2枚タイプ、ドラムポーターを入れるスペースも計算されオペレーターの使い勝手が増しました。納車5日前に雹(ひょう)が降り、車装がボコボコになり約1ヶ月遅れての納車となりました。やっと新UN車で施工する事が出来た松田OPはこれから下半期に向けて8号機の稼働UPに向け鼻息も荒く主剤にポンプを突き刺しました。

UNマシン.COMサイトが起ちあがりました
ブログ銀の汗にUNの活動状況一部掲載しています

www.un-machine.com

yahoo検索ワード第1位(ウレタン・省力化など)
UNマシンにて検索

【sweat of silver】

お陰様で昨今、地方からもUNマシンを使用したい旨の問合せを多く頂くようになりました。6月は初の青森県での施工を終えました。7月8月に愛知県と山形県での施工を行います。これで日本47都道府県のうち27県(57%)でUNマシンの施工をさせて頂きました。

7月に参議院選挙がありました。UNマシンは全国比例の様に闘っています。施工店様からの清き「UNマシン希望」の声を頂けますように汗を流します。2017年に九州地区で立候補したUNマシン6号機は、5年間で6県(86%)のUN施工を行い、残る佐賀県で施工を終えれば、九州全県制覇の勢いで進んでいます。

「長時間施工を、ぶっ壊す！」と拳を斜め45度に挙げて20年、お陰様で省力化・省人化・短時間施工のUNマシンの支持率がアップしてまいりました。「熱中症対策、短時間施工のUN」「コロナ3密対策にはUNマシン」と叫び、施工店様からの支持も日々頂いています。全国地方都市に伺っても現場職人さんの「早くて、楽で、助かったよ」の声は変わりません。

制覇した日本地図を見たオペレーターからはあと10県は現場が必ずあるはずと47都道府県で37県(約80%)施工に向かって今日も目の前の現場を大切に施工を始めます。

「線状降水帯」などと、今迄聞いたことがない、雨の用語が飛び交う昨今、現場ではゲリラ豪雨で施工途中で中止になった現場も少しずつ増えてきました。天気だけは人智でどうにかなるものではありません。ただ現場担当のオペレーターは現場日が、ずれようが最終的にUN施工をやり遂げるとの決意で1現場1現場を積み上げて参ります。2022年盛夏、暑中お見舞い申し上げます。